

スワンをβ本町橋のシンボルにするプロジェクト

スワンボート
β本町橋
クラウドファンディング

DATA

主な連携先・メンバー
一般社団法人水辺ラボ（β本町橋の企画運営）

活動地域
大阪府大阪市東横堀川界限

活動期間
2024年5月～2025年4月

活動資金
なし



スワンボートの修理作業の参加と取材

目的

β本町橋で引き取られた壊れた国産スワンボートを修繕し、東横堀川や水都大阪のマスコットとしてよみがえらせるためのPR活動。

活動内容

- 2024年
- 5月 β本町橋の関係者とプロジェクトについて打ち合わせ。
 - 6月～ 毎月2日に月刊新聞「マンスリーすわん」を配信し、「スワン再生プロジェクト」とスワンにまつわるさまざまな情報を発信。
 - 7月～8月 東横堀川界限の取材、地域のイベント参加、β本町橋で子ども向けスワン塗り絵ワークショップを開催。
 - 10月 水の都パビリオンで「スワン再生のクラウドファンディング」をPR。

連携にいたる経緯

2021年度に展開した『「水都大阪」の魅力の再発見、近場で非日常を楽しむ～東横堀川PRプロジェクト』で、β本町橋と連携したことをきっかけに、「スワン再生プロジェクト」に加わるようになった。

11月～12月 スワンボートの修理作業の参加と取材。

2025年

- 1月 スワンボートの修理作業の参加と取材。
- 2月 水都大阪アカデミアでプロジェクトについて発表。
- 4月 月刊新聞「マンスリーすわん」最終号を配信。

月刊新聞「マンスリーすわん」の詳細はQRより→



β本町橋で行われた塗り絵ワークショップの様子



活動の成果

- ≫ 「スワン再生のクラウドファンディング」の目標金額達成に貢献した。
- ≫ 地域内外に向けて水辺の魅力を伝えることができ、東横堀川地域の方々との交流も深められた。
- ≫ 活動に関わった学生たちの取材力、コミュニケーション力、情報発信力が向上した。

月刊新聞「マンスリーすわん」



水の都パビリオンで「スワン再生のクラウドファンディング」をPR



今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 引き続き学生目線で水の都・大阪の魅力を発信していく。
- ≫ プロジェクト終了後も、学生たちが継続的に活動地域と関わる事ができる環境を作っていく。

連携先からの一言

クラウドファンディングも修理も沢山の応援が必要なプロジェクト。チームの皆さんの前向きさと明るさがあったからこそ、たくさんの支援に繋がりました。

（一般社団法人水辺ラボ 廣井真由美氏）

社会学部 教授 劉 雪雁 Liu Xueyan



専門分野は国際メディア論。近年、訪日外国人観光客と地域活性化の関係について調査研究を行っている。

劉ゼミホームページ→

